

< 感想 >

韓国滞在中に研究機関などに対するヒアリングなどの結果わかった韓国の効率的な資産管理システムの実現に向けた解決すべき問題点を以下に示す。

問題点 その1

最も重要な問題は管理責任に関する問題である。まだ法律上で資産管理システムに対する責任の所在、定義がされていない。したがって、現在、道路関連施設物は種類別又は管理主体別で管理責任が分散している。統合運営によって正しい評価が行われる資産管理システムの実現は遠いと考えられる。

問題点 その2

資産管理のためのモデルの不在を指摘する。韓国には国内の状況に応じた適切なモデルがないので資産管理システムを構築するにはモデルがいる。道路管理及び維持が管理主体の経験に頼っているため維持補修費用が大きくなっているが、適切なモデルがないので、これに対する現況把握ができないのが実情。したがって、適切な対策を立てることができない。

問題点 その3

国内実情に相応しい資産管理基準及び道具の不在を指摘することができる。モデルのみならず基準や道具もなく、システムを実現するのに多くの問題があるのが実情である。建設交通省では道路管理統合システムが2003年に完成したが、これは既存システムの統合が主眼だったので、資産管理基準はまだ構築されていない。したがって、施設物維持管理システムだけが存在しているのが実情である。

問題点 その4

資産管理の専門家（人材）の不足を指摘することができる。人材の不足により予算確保や研究の進行が難しい状況である。

問題点 その5

資産管理関連国内データの分類及び処理が不十分である。資料調査が十分でないためDB（データベース）の作成自体も問題になるが、分類や処理が不十分であり、DB（データベース）が実際問題としてシステムの実現に役に立たない。最後に、初期システム構築に比べて管理部門の体制が不十分であると言える。システムを総括担当する組織（責任者）の不在で資料の更新が難しく、実務担当者の頻繁な入れ替わりと専門性不在により作成された資料も放置される恐れがある。数週間の滞在の中で以上のように韓国における資産管理に関する問題点を整理することができた。韓国語には不慣れなためヒアリング等の調査には相当苦労したが、有意義な滞在となったと思う。